

玉野高2年・榎さんガールズ・サミット参加

中四国9県の女子高校生の討論会「ガールズ・サミット」に、玉野高校2年榎菜乃葉さん(16)が参加する。「校外の人たちと意見を交わし、視野を広げたい」と期待を膨らませている。

サミットは「なりたい自分になるために」がテーマ。国際ソロプチミストアメリカ日本西リジョンが主催し、8月22、23日に福山市で開かれる。推薦を受けた51人がグループ討論、個人発表を行い、優秀者にガバー賞、論文賞などが贈られる。

「討論し視野広げたい」

榎さんは教員に勧められ、参加に必要な論文作裕があり、よりよい対人



「ガールズ・サミット」参加について、国際ソロプチミスト玉野のメンバーから激励される榎さん(手前右)

ソロプチ玉野激励 テーマは「なりたい自分」

関係を築ける理想の女性像を実現するため、生徒会執行部に立候補したエピソードを紹介。「自信が持て、相手の気持ちを考えられるようになった」とつづり、国際ソロプチミスト玉野の推薦を得た。市内からだ一人の参加。

国際ソロプチミスト玉野が18日、激励会を日の出ふれあい会館で開いた。榎さんは論文を朗読。林照子会長(75)＝田井＝から「サミットで経験を積み、すてきな大人の女性にステップアップして」とエールを送られ、「気負わず、自分の考えをストレートに伝えたい」と抱負を話した。

(正本和臣)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。